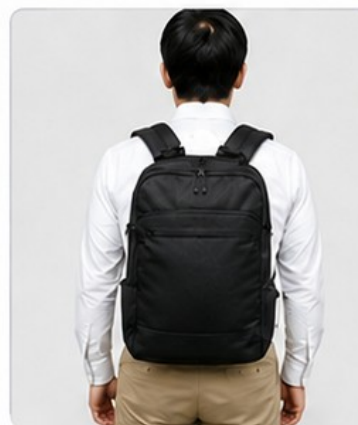


混雑した電車内で両肩を解放して前方保持できるリュックサック技術

使用形態の比較

— 特許第7156702号 —

① 通常使用（背負う）



特徴

- 一般的なリュックとして使用

両肩に肩ベルトを掛けて背負う通常の使用方法

② 従来の前掛け方法



課題

- 肩ベルトを前側から両肩に掛ける必要がある
- リュックの位置が高くなりやすい
- 両肩がベルトで拘束された状態

本来背中側で使用する肩ベルトを前側から両肩に掛けてリュックを保持する方法

③ 本特許方式（首掛けベルト使用）



特徴

- 首掛けベルトで前方保持
- 肩ベルトを使用しないので両肩を解放
- 長さ調整が可能で保持位置を調整できる

首掛けベルトを使用してリュックを前方保持する方法
両肩を解放でき、位置調整も可能

本技術の概要

収納状態（通常時）



首掛けベルト収納部
（両側面内部に収納）

肩ベルト

リュックサック本体上部に、使用者の頭部後側に掛ける首掛けベルトを備え、左右の部分を本体内部に収納可能。

使用時（引き出した状態）



必要なときにベルトを引き出し、頭部後側に掛けてリュックを前方で保持。

長さ調整により、頭部との当接部位とリュック本体との距離を調整できる。

本技術のポイント

- ✓ 通常時は一般的なリュックとして使用
- ✓ 使用時だけ首掛けベルトを引き出して前方保持
- ✓ 肩ベルトを使用しないため両肩を解放できる
- ✓ ベルト長さを調整して保持位置を調整できる
- ✓ 首掛けベルトは側面内部に収納されるため、見た目や使い勝手を損なわない

想定用途・活用のヒント

想定用途（例）



通勤・通学



ビジネス



防災



旅行



アウトドア

本技術の導入メリット

- 混雑した電車内で、周囲の人への接触や圧迫を軽減
- 両肩を解放でき、体の自由度が高まる
- 長さ調整により、身長や姿勢に合わせた快適な保持が可能
- 既存のリュックサックへの応用、商品改良がしやすい構造
- 日常使いと混雑時の使い分けが簡単

発明の目的

公共交通機関において、周囲の乗客へ配慮しやすいバッグの使用環境づくりに貢献することを目的としています。

希望する活用方法

本技術の実施許諾（ライセンス）、共同商品化、既存製品への応用など、バッグメーカー等との協業を希望しています。

※ 本画像は説明のためのイメージです。実際の製品デザインとは異なる場合があります。